

普通旋盤作業で女子も奮闘

～高校生ものづくりコンテスト開催される～

高校生ものづくりコンテスト埼玉県大会（旋盤作業部門）が、6月8日（土）行田市の「ものづくり大学」で実施された。

今回参加した選手は、県内の工業高校9校から16名。各校の教員や生徒仲間、そして保護者の方々が見守る中、2時間30分の競制限時間で競技が行われた。

今回特に目を引いたのは、近年参加が増えているという女子選手の奮闘ぶりで、今回は参加16名中、女子選手は3名だった。

三郷工業技術高校の竹内理沙さんは、「1年生の実習で旋盤をやったら楽しかった」のが始めたきっかけ。

浦和工業高校の里見楓さんは、先生の実験に誘われて始めたと言い、「ゲームのような感じ」で取り組んでいるという。

女子最高位の第4位となった進修館高校の高橋唯さんも先生に誘われて始めたひとりで、「うまく精度が出て、オス部品メス部品がピッタリはまったときに嬉しい」と、旋盤加工にやりがいを感じている。

コンテストの結果、優勝は狭山工業高校の落合拓水君、準優勝は進修館高校の大野諒雅君、第3位は熊谷工業高校の埴哲哉君が受賞し、それぞれ表彰を受けた。



奮闘する女子選手：三郷工業技術高校の竹内さん(上)、浦和工業高校の里見さん(中)、進修館高校の高橋さん(下)



優勝：狭山工業高校の落合君(中央)、準優勝：進修館高校の大野君(左)、第3位：熊谷工業高校の埴君(右)